

《 解説 》

症例 1（胃潰瘍）

問 1． 身体所見、検査所見の異常値をあげよ。

身体所見では、心窩部の圧痛が異常、検査では軽度の貧血（MCV 99）と血沈の亢進が異常である。

問 2． 血沈亢進の原因は？

血沈の亢進は貧血が原因である。

問 3． 酸分泌を評価せよ。

酸分泌では、基礎酸分泌が高く、BAO/MAO 値が高い。

問 4． 画像を評価し、診断せよ。

胃角上部にニッシュェが観察される（充盈像）。辺縁部なめらかで、胃壁の辺縁線より外側に突出している。二重造影では、潰瘍部に造影剤のたまりが観察される。

内視鏡では、境界鮮明な深い潰瘍と周囲粘膜の浮腫、充血が観察される。

生検所見（HE 染色）では、潰瘍周辺部粘膜の円柱上皮表面に、らせん状を示す桿菌の感染が観察される。*Helicobacter pylori*（ピロリ菌）感染と診断される。

診断：消化性胃潰瘍 peptic gastric ulcer

問 5． 治療法を述べよ。

ヒスタミン受容体 H2 拮抗剤（シメチジン、ラニチジン）の投与とともに、ピロリ菌の除菌治療が行われる。除菌治療は 3 剤併用が基本で、プロトンポンプ阻害剤（オメプラゾール）、クラリスロマイシン、アンピシリンを 1 週間経口投与する。